

JVCA からのお知らせ

1. 勉強会等のご案内

◆ JVCA 定例勉強会

原則として月1回、VC会員・賛助会員を対象とした勉強会を開催しております。過去4か月間に開催された定例勉強会は以下の通りです。

第43回(11月20日開催)

テーマ 日本の対内直接投資(FDI)の現状とジェトロの取り組み
講師 日本貿易振興機構(ジェトロ)
対日投資部部長 水谷 修 氏

第44回(12月18日開催)

テーマ サブプライム後のシリコンバレー ～VC投資の現況～
講師 株式会社サンブリッジ
取締役創業者 アレン マイナー 氏

第45回(2月25日開催)

テーマ 2009年IPO市場の動向について
講師 野村証券株式会社
公開引受部 次長 久松 靖 氏

第46回(3月19日開催)

テーマ ベンチャー投資における知財情報の活用について
～成功する企業・成功しない企業の見分け方
講師 内田・鮫島法律事務所
弁護士 鮫島 正洋 氏

2. 会員の変更(2008年12月1日～2009年3月31日)

【新規入会】

2月24日付

・賛助会員 内田・鮫島法律事務所 (<http://www.uslf.jp/>)

【退会】

1月9日付

・賛助会員 シー・ディー・エム株式会社

3月31日付

・VC会員 明治キャピタル株式会社

日本ベンチャーキャピタル協会 ニュースレター No.20

■発行日 平成21年4月3日

■発行 有限責任中間法人 日本ベンチャーキャピタル協会
〒105-0004 東京都港区新橋1-1-1 日比谷ビルディング
TEL: 03-3595-6616 FAX: 03-3595-6617
E-mail: jimukyoku@jvca.jp URL: <http://www.jvca.jp/>



「企業年金セミナー」開催

さる3月4日、経済産業省、大和総研、JVCAの合同の企画により、企業年金関係者を対象に、VC投資に関する情報提供を目的とするセミナーが開催されました。

開催の趣旨

昨年9月以降のグローバル金融危機による市場の混乱もあり、資産運用については、総じて厳しい金融・経済環境下での運用を余儀なくされています。今後も、世界的な株式市場の低迷や長期金利の低下等、厳しい運用環境の継続が懸念されています。

こうした中、年金基金におかれては、運用戦略の見直し、運用資産配分の見直しが課題となり、オルタナティブ投資分野に関してもヘッジファンド投資一辺倒から新たな投資戦略の再構築へ関心が移る兆しも見受けられます。しかし従前より、年金基金からは、VC投資の位置付けをどう考えるべきなのか、実際の投資実務をどうすべきなのかなど、戸惑う声が数多く寄せられているのが実情です。

成熟化の度合いを強める日本経済において、VC投資は、将来的な経済成長の原動力として期待されます。今般、足下の金融危機を契機として改めて注目される可能性のあるVC投資に焦点を当てたセミナーを3者合同で企画、実施する運びとなったものです。

開催の概要

100名を超える来場者があり、有意義な情報発信の機会となりました。

●会場

大和証券グループ本店コンファレンスホール B

●開会挨拶

経済産業省 新規産業室長 吾郷進平 氏

●基調講演

「企業年金におけるベンチャーキャピタル投資」

講師: JVCA 嶋田会長

●パネルディスカッション

「企業年金によるベンチャーキャピタル投資
～その意義と実際上の問題点」

パネリスト:

・石田英和 氏

(大阪ガス(株)財務部ファイナンスチーム
企業年金資産運用担当)

・尾崎一法 氏(JVCA 理事)

・松田修一 氏

(早稲田大学ビジネススクール教授、
日本ベンチャー学会会長)

モデレーター: 山本御稔 氏

(監査法人トーマツ FIG パートナー)

VC投資の現状や社会的意義をはじめ、企業年金からVCファンドへの投資における課題、VCから企業年金への情報開示のあり方等、活発な発表がなされました。



■パネルディスカッションの様子
左から山本氏 石田氏 尾崎氏 松田氏

企画部 **2008年度VCトップ懇談会開催**

(1月14日～2月5日)JVCAでは、会員各社トップ(代表者)間の交流、及びJVCAの活動報告を目的として「VCトップ懇談会」を開催しました。計6回開催し43社の会員VCが参加しました。足下のVC業界の厳しい環境を踏まえ、資金調達、投資方針、出口戦略などについて、活発な意見交換が行われました。

- 資金(ファンド)調達
 - ・海外企業との接触を増やしている。
 - ・投資対象業種を絞ったり、ハンズオン機能を明確にするなどして工夫している。

- 投資
 - ・VC各社が協調して、投資を進めたい。また、それにより投資先への関与を強め、EXITも円滑に運びたい。
 - ・現在は選別的に投資できる好機であり、従来の投資方針を継続する。
- 出口戦略の見直し
 - ・投資先を選別し、経営資源を集中している。
 - ・投資先支援では、大企業とのマッチングに注力している。
 - ・海外企業との接触を進めている。

企画部 **(株)産業革新機構(イノベーション創造機構)について**

JVCAから鶴田会長がメンバーとなっていた財政投融資に関する基本問題検討会産業投資ワーキングチームにおいて、研究開発・ベンチャーによるイノベーション創出を目的とする、新たな官民パートナーシップ構築に向けた取り組みの必要性が示されました。これを具体化

するものとして、現在、(株)産業革新機構の設立準備が進んでいます。今国会審議を経て、今夏を目途に設立される見通しです。JVCAでは、経済産業省との情報交換を引続き行っていく予定です。

会計委員会 **減損基準アンケート実施**

かねてから懸念されている、過度の投資先の減損処理の問題に関して、JVCAの主張内容とその論拠をまとめるのに先立ち、VC会員を対象として実態把握のためのアンケートを行いました。

今後、回答結果の分析を行い、対応策の検討を行っていきます。引続き会員各位のご協力をお願い致します。

税務委員会 **ファンドを通じた海外資金の呼び込み(税制改正)**

2008年9月にJVCAから提出した平成21年度税制改正要望において掲げた、外国投資家からのベンチャー投資の阻害要因の解消(1号PE課税、事業譲渡類似課税の改正)は、与党

税制改正大綱に盛り込まれ、ファンドを通じた投資を行う非居住者・外国法人組合員は、一定の要件の下で、その株式譲渡益について非課税となる見通しです。

税務委員会 **平成22年度税制改正要望に向けて**

JVCAでは昨年度に続き、平成22年度税制改正要望書を提出する考えです。この草案の作成に先立ち、会員各位から広くご意見を伺うためア

ンケートを行いました。今後、回答結果をまとめ、諸団体との連携も模索しつつ、活動していきます。引続き会員各位のご協力をお願い致します。

法務委員会 **TOKYO AIM(東証プロ向け新市場)意見書提出**

東京証券取引所は、昨年の金融商品取引法改正によって創設するプロ向け新市場の名称を、「TOKYO AIM」(トウキョウエイム)とすることを発表し、同時に指定アドバイザー(J-Nomad)制度に関する規程なども公表しました(1月29日)。同時にパブリックコメントも募集しており、JVCAはこれに対応して、意見書を提出し

ております(2月25日)。
意見書の主な内容は、J-Nomadのインサイダー情報や利益相反問題などを課題として提議し、TOKYO AIMがベンチャー企業やVCにとって魅力的な新市場となることを要望しているものです。

法務委員会 **独占禁止法改正案国会提出へ**

昨年来、法務委員会で対応してきた独占禁止法改正法案について、2月27日、閣議決定され国会へ法案が提出されました。
法案のこれら成立動向については、既に会員

の皆様にも周知を図るなど対応しているところでありますが、当委員会では、VC業界の観点から、引続き法案動向に注目していく予定です。

調査・研究委員会 **ベンチャーキャピタリスト研修(春季集中コース)開催**

(6月4日～7日)JVCAでは比較的経験の浅いVCの投資担当者を主な対象として「ベンチャーキャピタリスト研修(春季集中コース)」を開催します。首都圏以外に勤務するキャピタリストの方も参加しやすいように、週末4日間

で集中して開催します。講義プログラムの内容は、通常コースと同じく一連の投資プロセス全般に関する内容となっております。JVCAホームページにて、実施内容をご確認のうえ、お申込みください。

調査・研究委員会 **ベンチャーキャピタリスト検定開催**

(6月13日)東京、大阪2会場で、ベンチャーキャピタリスト検定を実施します。実務経験のない方でも受検できるように事前準備テキストとしてサイドリーディングを作成し、受検申込者の皆様に配布いたします。本検定は、現役のベンチャーキャピタリストのみならず、ベンチャーキャピタリストを目指す方、他業種で

ファイナンス関連業務に携わる方、ファンド出資事業やベンチャー支援策としての金融施策立案に携わる方などを対象としていますので、各自のスキルチェックに是非ご活用ください。JVCAホームページにて、実施内容をご確認のうえ、お申込みください。

広報委員会 **インドネシア ベンチャー資本市場創設ワークショップへ参加**

(2月10日～12日)国際協力機構(JICA)とインドネシア資本市場金融機関監督庁の共催でジャカルタにて開催されたワークショップ：中小企業向け専門市場創設に向けたスタディ・ミーティングにJVCA事務局より杉田企画部長がスピーカーとして参加し、VCについて日本の現状と課題についてレクチャーを行い、関係機関との協議、助言指導を行いました。



■パネルディスカッションの様子